

都市再生整備計画(第1回変更)

みやづしもんじゅ ふちゅう
宮津市文珠・府中地区

きょうとふ みやづ
京都府 宮津市

平成29年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	宮津市	地区名	宮津市文珠・府中地区	面積	816.5 ha
計画期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度
交付期間	平成	26	年度	～	平成	30	年度

目標

- 大目標「海の京都 魅力ある観光まちづくり」
- 目標1：交流拠点としての天橋立駅周辺再整備と賑わいの創出
- 目標2：品格と情緒を感じる街並みの整備
- 目標3：多面的な観光動態の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、日本三景・特別名勝「天橋立」の玄関口として、年間約270万人が訪れる観光地であり、京都府北部地域の観光業を牽引する重要な地区である。
- ・多くの観光資源がある一方で、観光地としての景観整備の遅れ、交通結末点・交流拠点としての駅機能の脆弱性、安心して歩ける街並みの整備、賑わいの創出など、観光地としての課題も多くあり、近年の観光入込客数も横這い状態となっている。
- ・平成26年度の京都縦貫自動車道の全線開通、舞鶴若狭自動車道の完成、京都舞鶴港への外洋クルーズ客船の入港など、京都府北部地区を取り巻く交通基盤整備が進むなか、北近畿タンゴ鉄道では新型観光車両が導入されるなど、更なる誘客推進、観光地としての受入態勢の整備が求められている。

平成20年度 「天橋立周辺地域景観まちづくり計画」策定

平成21年度 文珠地区住民による「文珠地区景観まちづくり計画」策定

平成23年度 府中地区住民による「府中地区景観まちづくり計画」策定

平成25年度 京都府と北部7市町の連携による「海の京都構想」のもと、北部地域を強い集客力を持つ日本を代表する有数の観光地として整備する方向が示され、「海の京都・天橋立地区マスタープラン」策定

課題

交流拠点としての天橋立駅周辺再整備と賑わいの創出

- ・天橋立駅前の道路は、直線で交通量も多く、各種車両が交差するとともに、歩道の狭さから、通行者に不安を与えている。また、駅前広場の勾配が急であり、降雨時、積雪時などの歩行者の転倒が問題となっている。
- ・送迎者用の一時駐車場は、駅前の外湯施設を分断する位置にあり、駅舎から外湯施設への動線が確保されておらず、観光資源としての活用が図られていない。
- ・駅舎は舟屋をモチーフにした意匠であるが、タイルやステンレスなどの硬質素材が多用され、和のイメージが強い「天橋立」の景観とはなじまないものとなっている。
- ・天橋立駅は、景勝地「天橋立」の玄関口であるが、物販機能、結束・休憩機能を付加し、周辺の観光スポットへの周遊を促す交流拠点としての整備が必要である。

品格と情緒を感じる街並みの整備

- ・京都府北部有数の観光地であるにもかかわらず、地域内の歩道は狭く、観光客が並んで歩行できない状況にある。また、道路の舗装も景勝地の雰囲気損なうものとなっており、和のデザインを取り入れた改修が必要である。
- ・街並みについても、空き家・空き店舗が活用されておらず、地区の景観形成を妨げているほか、店舗によって異なるファザード、意匠のばらつきなど一体的な回遊性に乏しく、観光地としてのにぎわいが衰退している状況にある。

多面的な観光動態の整備

- ・着地型観光地づくりに向けて、地域内交通網の充実、体験型観光プログラムの開発など、豊かな自然と歴史・文化を活用した多面的な観光動態の整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 「海の京都・天橋立地区マスタープラン」を策定し、ハード・ソフト両面の整備を進め、魅力的な観光地としての再生を図る。

目標を定量化する指標

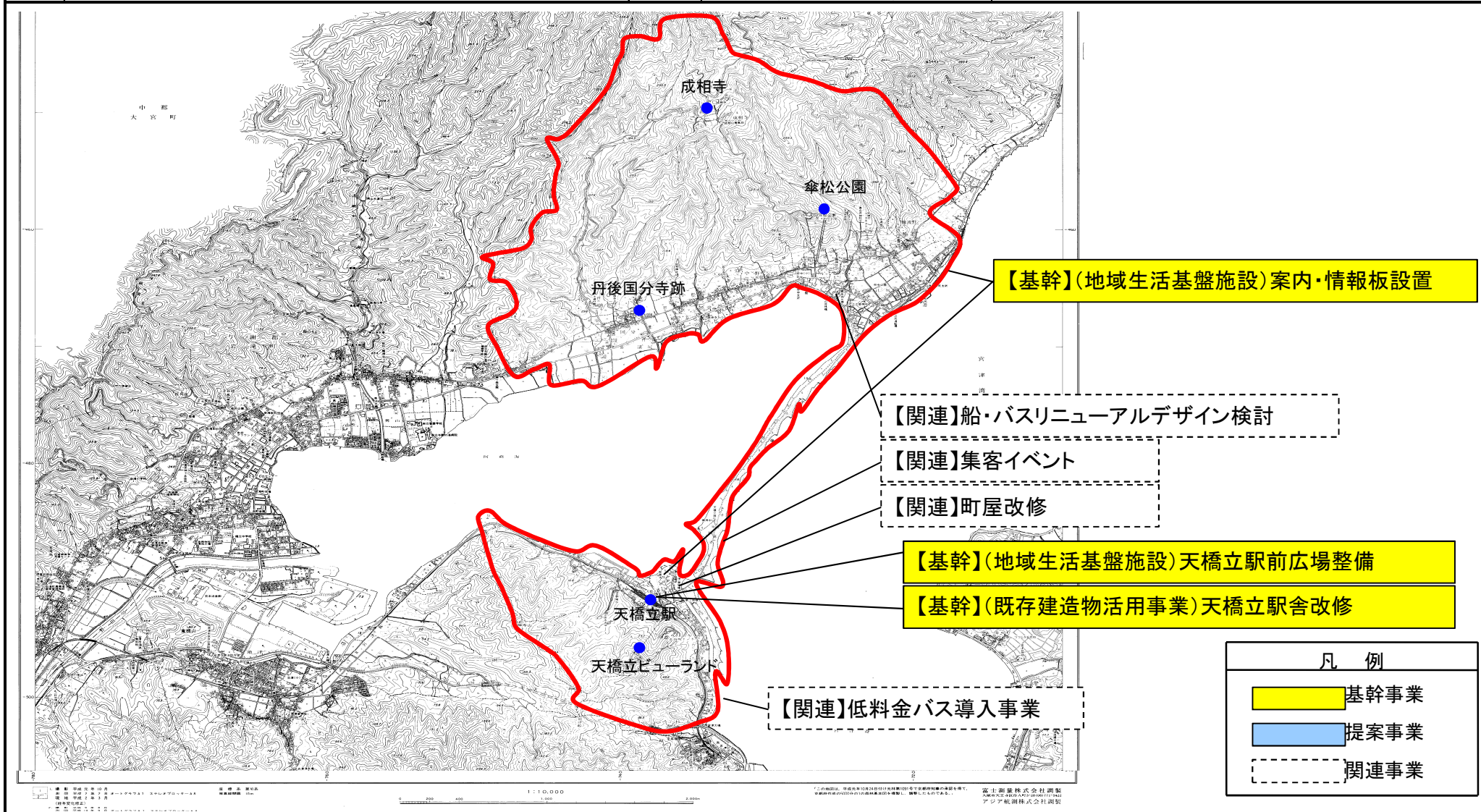
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
				基準年度	目標年度
観光入込客数	年／人	年間観光客数	駅を拠点とした観光地の再生により、観光客数の1割増加を目指す	260万人	300万人
天橋立駅利用者数(KTR乗降者数)	年／人	天橋立駅におけるKTR乗降者数	減少傾向にある鉄道利用者数について、魅力ある観光地づくりを進めることにより、乗降者数の現状維持を目指す。	15万人	15万人
観光案内所・外湯施設利用者数	年／人	天橋立駅観光案内所利用者数及び外湯施設利用者数	交流拠点としての天橋立駅周辺再整備を実施することにより、観光客・地元住民の利用者数1割増加を目指す。	5.9万人	6.5万人

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●交流拠点としての天橋立駅周辺整備と賑わいの創出 天橋立駅前広場及び駅舎について、観光客と地域住民の交流拠点として整備を行うことにより、観光地としてふさわしい景観形成、賑わいの創出、周辺観光施設への周遊を促し、魅力ある滞在型観光地への転換を図る。</p>	<p>天橋立駅前広場整備(地域生活基盤施設:基幹事業) 天橋立駅舎改修(地域生活基盤施設:基幹事業) 集客イベント(関連事業)</p>
<p>●品格と情緒を感じる街並みの整備 店舗や路面の景観を統一することにより、景勝地「天橋立」の玄関口に相応しい街並みの形成、空き店舗の活用による賑わいの創出を行う。</p>	<p>町屋改修(関連事業) 案内・情報板整備(地域創造支援事業:基幹事業)</p>
<p>●多面的な観光動態の整備 地域内交通網の充実、体験型観光プログラムの開発など、豊かな地域資源を活かした多面的な観光動態を整備する。</p>	<p>船・バス等リニューアルデザイン検討(関連事業) 集客イベント(関連事業) 低料金バス導入(関連事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○事業終了後の持続的なまちづくり活動 ・海の京都・天橋立地区協議会を中心に、地元住民・行政・観光協会・事業者等が連携して持続的に取り組んでいく。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について ・交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、事業の内容や進捗状況を広報誌やホームページにより広く住民に周知する。</p>	

文珠・府中地区(京都府宮津市) 整備方針概要図

目標	海の京都 魅力ある観光まちづくり	代表的な 指標	観光入込客数 (年/人)	260万人 (平成24年度) → 300万人 (平成30年度)
			天橋立駅KTR乗降者数 (年/人)	15万人 (平成24年度) → 15万人 (平成30年度)
			観光案内所等利用者数 (年/人)	5.9万人 (平成24年度) → 6.5万人 (平成30年度)



凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業